

## ■2021 年度B日程一般入試法律科目試験

### 「小論文」問題の出題趣旨・解説

#### 【出題趣旨】

〔問〕は、問題文を読解し、著者の問題意識を踏まえた上で、女性の貧困問題について考察を行い、根拠を示して論理的・説得的に自分の見解を論述する能力を問うものである。受験者には法曹を目指すために必要な読解力、考察力、そして論理的な文章表現力を求めている。

#### 【解説】

##### 1 解答にあたっての注意事項と解答方法について

解答にあたっては、問題表紙に、①解答の訂正方法(斜線又は横線での消去と次のマス目からの書き直し)、及び、②記入方法(記入欄・横書き)が指示されており、当然それに従った解答が求められる。

この指示に従っていない場合、例えば、訂正した同じマス目の中や余白に訂正後の解答を書いたり、解答欄外に訂正後の解答を書いたりするなど、指示に従わずに解答を訂正している場合は、その部分は記入がないものとして採点を行った。

また、誤字・脱字は言うまでもなく日本語能力の問題であり、採点基準に含めている。

##### 2 〔問〕について

著者は、貧困率に関する男女間格差が拡大しているにもかかわらず、女性の貧困が社会問題として正しく認識されておらず、1人の人間としてではなく「子どもを産む性」として扱われることを前提として少子化問題と結びつけられ、その問題意識や関心は、子育て支援や子どもへの支援等の文脈において歪められ矮小化されてしまっていることを指摘している。それを踏まえて女性の貧困に関する本質的な問題点について考察し、自らの見解を明確かつ説得的に論じることが求められる。

以 上